

新専門医制度に関する説明会

2018年10月6日

第68回日本泌尿器科学会中部総会
日本泌尿器科学会専門医制度審議会委員長
小川 良雄

新専門医制度の動向と 専門医更新について

- 泌尿器科専門研修プログラム
- 機構認定専門医更新基準
- 専門医制度とNCD
- Q & A

プログラムに関する現状報告

	応募プログラム数	承認プログラム数
2016年	98	95
2017年	3	1
2018年	5	5
合計	106	101

- 専攻医募集定員数は申請総数が613名であったものを最終546名とした。
- 2018年4月の専門研修開始は274名

2018年度専攻医応募・採用数

96プログラム

定員数 539名

	応募者数	採用数
1次募集	257	250
2次募集	22	21
3次募集	3	3
合計	282	274

今年度は5大都市のシーリングがかかり採用数の調整せざるを得なかった

5大都市のシーリング

厚生労働省と専門医機構の強い勧告により、5大都市の採用人数は過去5年の専攻医数の平均を超えないように強いられた。

東京都は2019年さらに5%削減された。

	定員総数	2018年の 応募者数	2018年の 採用数	2019年の 採用数
東京都	97	52	51	50
神奈川県	28	15	15	16
愛知県	24	10	10	11
大阪府	36	22	18	19
福岡県	24	16	11	12

本年の専攻医登録

- 専門医機構から10月中旬とアナウンスされていますが、確定日は示されていません
- 機構のホームページを毎日チェックしてください
- 募集期間、調整期間、2次、3次募集等は全く未定です

新専門医制度の動向と 専門医更新について

- 泌尿器科専門研修プログラム
- 機構認定専門医更新基準
- 専門医制度とNCD
- Q & A

現在専門医をお持ちの先生方は、
2021年の更新時までは日本専門医機構の制度による
 専門医更新か従来の学会専門医更新の
いずれかを選択して手続きしていただくことになります。

現在の認定期間	次回更新		次々回更新	
2019年3月31日 まで	2019年	機構専門医または学会専門医	2024年	機構専門医
2020年3月31日 まで	2020年	機構専門医または学会専門医	2025年	機構専門医
2021年3月31日 まで	2021年	機構専門医または学会専門医	2026年	機構専門医
2022年3月31日 まで	2022年	機構専門医	2027年	機構専門医

2019年～2021年学会専門医 更新条件

- ①総会または地区総会に1回以上参加
- ②学会研修単位 100単位以上

従来どおりで、変更はない

日本専門医機構の制度による更新基準

(下記1~4の合計 50 単位が必要)

1. 診療実績 10単位

(手術10症例で1単位、診療症例1領域10件で1単位)

2. 専門医共通講習 最小3単位

(必修講習各 1 単位) 最大10 単位

3. 泌尿器科領域講習 最小15単位

4. 学術業績・診療以外の活動実績 0~15単位

日本専門医機構の制度による更新基準 における条件を設定

1. 日泌総会または地区総会に**1回以上参加**すること(1回3単位、上限6単位取得)
2. 講習単位全体の**40%以上**を卒後教育プログラム(e-ラーニングを除く)の受講により取得していること
3. e-ラーニングでの取得単位が講習単位全体の**30%以下**であること

※講習単位全体

= 専門医共通講習単位 + 泌尿器科領域講習単位

日本専門医機構の制度による 泌尿器科専門医更新基準の変更点

- 1) 専門医更新回数が**4回目以降**の場合は、診療実績の**10単位が免除**となり、講習等の単位合計 40 単位で認定されます。
- 2) 専門医共通講習の最小取得単位は5年間で3単位(必修講習各1単位)です。最大10単位です。
- 3) 学術業績・診療以外の活動実績として、総会などへの参加(6単位まで)や筆頭発表等で最大15 単位までかで取得可能です。
- 4) 上記2)3)により、領域講習は最小で15単位となります。

日本専門医機構の制度による 泌尿器科専門医更新基準の変更点

- 5) 1日または学術大会会期中に取得できる講習単位数の上限はありません。
- 6) 機構の制度での完全運用までの移行期を1年間先送りとし、2022年更新申請より機構の制度での完全運用となります。
- 7) **学会中のシンポジウムやワークショップ**を60分～120分未満1単位、120分以上を2単位として認められることとなり、第82回東部総会より領域講習認定のプログラムが設定されました。会期の1日につき1プログラムを指定します。

2018年度以降の機構専門医更新に必要な単位について、更新年度により更新に必要な単位数の割合が異なります。

更新年度	機構研修単位	学会研修単位
2019年度	60% (30単位)	40% (40単位)
2020年度	80% (40単位)	20% (20単位)
2021年度	100% (50単位)	0% (0単位)

各更新時期における新更新基準部分の必要単位一覧表

項目	完全移行後の 機構認定専門医 の新更新基準	学会専門医の各更新時期において必要となる 新更新基準部分の取得単位		
	取得単位	2019年 4月	2020年 4月	2021年 4月
i) 診療実績の証明	10単位	6	8	10
ii) 専門医共通講習	最小3単位、 最大10単位 (このうち3単位は 必修講習)	最小3 最大6 必修講習で2 以上	最小3 最大8 必修講習で3 以上	最小3 最大10 必修講習 で3以上
iii) 泌尿器科領域講習	最小15単位	最小9	最小12	最小15
iv) 学術業績・診療以外の 活動実績	0～15単位	0～9	0～12	3～15
i)～iv)の合計	50単位	30	40	50

2019年 機構専門医 更新条件

- ① 総会または地区総会に1回以上参加
- ② 学会研修単位40単位+機構研修単位30単位

学会/機構	内訳	単位数
学会	合計	40単位
機構	i 診療実績の証明	6単位
	ii 専門医共通講習	3～6単位
	うち必修講習 (医療安全/感染対策/医療倫理)	うち2単位以上 (2項目 各1単位以上)
	iii 泌尿器科領域講習	9単位以上
	iv 学術業績・診療以外の活動実績	0～9単位
	合計	30単位

実際の単位取得例 (2019年4月に機構基準で更新予定)

項目		2016年9月からの 取得単位	実際の適用	更新申請に 必要な単位
i) 診療実績の証明	A 手術実績	3 単位	手術症例30例	(0~6単位)
	B 症例一覧提示	3 単位	外来症例30例	(0~6単位)
	A+B	① 6 単位		6単位(必須)
ii) 専門医共通講習	a.必修講習	医療安全:1 単位	総会卒後	必修講習は 2つ以上
		感染対策:1 単位	地区総会卒後	
		医療倫理:1 単位	総会卒後	
	b.その他	0 単位		
	a+b	② 3 単位		2単位以上必須 最大6単位
iii) 泌尿器科領域講習	③ 15 単位	総会卒後 1X8 地区総会卒後 1X4 WEBINAR 1X3	9単位以上	
iv) 学術業績・診療以外の活動実績	④ 6 単位	2017年総会参加 2018年総会参加	0~9単位	
総合計(①+②*+③+④) *②には必修講習各1単位以上が必須です		30単位		30単位

従来の学会専門医更新のための**40単位**(2014年4月~2018年3月)

2014年、2015年日泌総会出席=20単位×2=40単位

2020年 機構専門医 更新条件

- ① 総会または地区総会に1回以上参加
- ② 学会研修単位20単位+機構研修単位40単位

学会/機構	内訳	単位数
学会	合計	20単位
機構	i 診療実績の証明	8単位
	ii 専門医共通講習	3～8単位
	うち必修講習 (医療安全/感染対策/医療倫理)	うち3単位以上 (3項目 各1単位以上)
	iii 泌尿器科領域講習	12単位以上
	iv 学術業績・診療以外の活動実績	0～12単位
	合計	40単位

2021年 機構専門医 更新条件

- ① 総会または地区総会に1回以上参加
- ② 学会研修単位0単位+機構研修単位50単位

学会/機構	内訳	単位数
学会	合計	0単位
機構	i 診療実績の証明	10単位
	ii 専門医共通講習	3～10単位
	ii うち必修講習 (医療安全/感染対策/医療倫理)	うち3単位以上 (3項目 各1単位以上)
	iii 泌尿器科領域講習	15単位以上
	iv 学術業績・診療以外の活動実績	3～15単位
	合計	50単位

2022年 機構専門医(全員) 更新条件

- ① 総会または地区総会に1回以上参加
- ② 機構研修単位50単位

学会/機構	内訳	単位数	
機構	i	診療実績の証明	10単位
	ii	専門医共通講習	3～10単位
		うち必修講習 (医療安全/感染対策/医療倫理)	うち3単位以上 (3項目 各1単位以上)
	iii	泌尿器科領域講習	15単位以上
	iv	学術業績・診療以外の活動実績	3～15単位
	合計		50単位

新専門医制度の動向と 専門医更新について

- 泌尿器科専門研修プログラム
- 機構認定専門医更新基準
- 専門医制度とNCD
- Q & A

専門医制度とNCD

- NCDは泌尿器科学会のデータベースであり、専門医制度のためだけのものではありません
- 泌尿器科手術を行う全ての施設はNCD施設登録をしてください
- 専門医更新、教育施設の更新申請についても順次NCD登録された手術症例数を利用することになります
- NCDの登録はまとめて入力は可能ですが、12月末までの症例は、**翌年の4月まで**に入力してください

専門医制度とNCD

- 2018年4月から専攻医登録された先生は手術症例を必ずNCDに登録して下さい
- NCDに登録した手術のみを経験手術症例として認めます
- 腎癌・前立腺癌・膀胱癌の登録症例については、**指導的助手**として登録された医師も術者として取り扱います
- 2018年度の膀胱癌の登録症例については指導的助手の項目がないため、必要な場合は別途申請してもらう対応とします

機構専門医更新のための診療実績 [手術症例]の確認

- 2019年機構専門医更新の先生：
- 診療実績6単位（2016年4月～2019年3月）
- **手術症例：**
 - 2016年4月～2018年3月分については学会ウェブサイトからダウンロードした申請フォームに記入する
 - 2018年4月～2019年3月分についてはNCD登録した手術症例をダウンロードする
- **外来診療症例：**
 - 2016年4月～2019年3月分を学会ウェブサイトからダウンロードした申請フォームに記入する

新専門医制度の動向と 専門医更新について

- 泌尿器科専門研修プログラム
- 機構認定専門医更新基準
- 専門医制度とNCD
- Q & A

Q & A

**現在まで専門医制度審議会に
質問が来た項目**

Q&A 研修の開始について

専門医研修は研修基幹施設から開始しなければいけませんか。

- ➡ 研修連携施設からでも大丈夫です。
- ➡ 研修基幹施設6か月以上とし、研修連携施設では3か月以下にならないようにしてください。
- ➡ ただし、専攻医の登録は研修基幹施設としてください。

Q&A 専攻医の所属

専攻医(卒後3年目)の所属(入局)は研修基幹施設でなくてもいいか。

- プログラムの所属は基幹研修施設ですが、いわゆる入局(入職)は**どこの施設**でも問題ありません。
- あくまでも各専門研修プログラムでの所属は専門医を取得するための所属です。

Q&A カリキュラム制について

1. カリキュラム制度を希望する場合、申請は誰が行うのか。(医局に入局していない人への対応も含め)
 2. カリキュラム制度を利用する場合、どこかの基幹病院に属することになるのか
- 日本泌尿器科学会は原則プログラム制度で行ないます
 - 妊娠出産、疾病、留学場合、地域枠、大学院生あるいは非常勤雇用での研修等を含むものを想定したプログラムを**カリキュラム制**とします
 - 研修プログラム統括責任者から申請していただき、当学会専門医制度審議会にて検討させていただきます

Q&A 専門研修プログラム管理委員会

1年目の評価として、いつどのように評価したらよろしいのでしょうか。審議会に提出する書類などはないのでしょうか。

- ➡ 専門研修プログラム管理委員会は、少なくとも年に1回開催し、プログラムの作成専攻医の学習機会の確保、継続的・定期的に専攻医の研修状況を把握するシステムの構築、適切な評価の保証、修了判定を行います
- ➡ 連携施設においても、原則とし常設の委員会をおき、専攻医の研修状況を把握し、年1回は基幹施設に報告してください

Q&A i) 診療実績の証明

症例一覧 注意事項

- ・手術以外の外来診療について記載する
- ・1領域10例=1単位になる
(例) 尿路性器感染症10例→1単位になる
尿路性器感染症8例+慢性腎不全2例
→1単位にならない
- ・必ずしも初診でなくても構わないが、泌尿器科専門医としてふさわしい疾患と診療内容のもので、同一人物の同一疾患が重複しないように記入する。ただし、2つ以上の領域にまたがる場合は、それぞれを1カウントとすることができる。
- ・「担当医/指導医」は、自分が担当医だった場合は「担当医」、指導する立場だった場合は「指導医」と記入する。指導医の場合、日本泌尿器科学会の指導医資格の有無は問わない。

Q&A 講習単位

ii) 共通講習+iii) 領域講習

- 全体の40%以上を、総会または地区総会(ビデオ講習を含む)の卒後教育プログラムを受講することで取得する。
- 全体の30%まで、e-ラーニングの受講で取得した単位が認められる。
- JUA WEBINARは、e-ラーニングのような上限はない。
- JUA academyにある「取得単位一覧表」「受講完了状況(e-ラーニング・JUA WEBINAR)」に記載されていない講習(関連学会の講習会など)については、更新申請時に受講証明書(原本)を添付して提出することで単位として認められる。

Q&A ii) 専門医共通講習

「共通講習」と「必修講習」

共通講習の一部（医療安全・感染対策・医療倫理）が、必修講習になっている。

主な共通講習

- ・医療安全（必修講習）
- ・感染対策（必修講習）
- ・医療倫理（必修講習）
- ・保険医療

など…

Q&A ii) 専門医共通講習 受講方法

- ・ 卒後教育プログラム（総会・地区総会会場にて）
 - ・ e-ラーニング
 - ・ 地方会の講習会
 - ・ 関連学会の講習会
 - ・ 医師会の講習会
 - ・ 基幹施設の講習会
- など…

卒後教育プログラム・e-ラーニング以外は、学会または日本専門医機構に申請して認められたものに限る

▼5.機構専門医更新のための講習単位一覧表

ホーム＞専門医制度＞専門医制度について＞新専門医制度について

https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html

（医師会・基幹施設の講習会などは記載していない）

Q&A iii) 泌尿器科領域講習 受講方法

- ・卒後教育プログラム(総会・地区総会会場にて)
 - ・総会企画プログラム(総会・地区総会会場にて)
(新専門医制度対応泌尿器科領域講習)
 - ・e-ラーニング
 - ・JUA WEBINAR
 - ・地方会の講習会
 - ・関連学会の講習会
- など…

卒後教育プログラム・総会企画プログラム(新専門医制度対応泌尿器科領域講習)・e-ラーニング・JUA WEBINAR以外は、学会または日本専門医機構に申請して認められたものに限る。

▼5.機構専門医更新のための講習単位一覧表

ホーム>専門医制度>専門医制度について>新専門医制度について

https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html

Q&A 指導医

- ① 専門医更新認定条件を満たしていること
(学会専門医・機構専門医は問わない)
- ② 泌尿器科に関する学術論文と学術集会での発表があわせて5件以上あること
初回の場合のみ…うち筆頭発表が1件以上
- ③ 指導医教育コースを1コース以上受講していること
- ④ 教育施設に3年間以上所属していること(非常勤可)

従来どおりで、変更はない。

日本泌尿器科学会の資格(のみ)のため。

最後に

- 情報は今後、常に更新されますので泌尿器科学会のホームページを是非ご覧ください。
- 統括責任者は専門医機構のホームページも常にチェックしてください。
- 疑問事項があればいつでも泌尿科学会専門医制度審議会にお問い合わせください。